



## 紺綬褒章 松原秀雄さん受章

松原秀雄さん(中野)が1月31日、紺綬褒章(公益のため私財を寄附)を授与され、2月4日、広江町長から伝達しました。

松原さんの授章は、昨年12月18日に教育施設整備資金として現金1,500万円寄附されたことによるものです。

町では寄附を受け、笠松中学校新屋内運動場建設基金へ積立て、老朽化が目立ち、耐震補強も必要である笠松中学校体育館の改築に活用させていただきます。

## 町活性化への中学生の提案

### しあわせ笠松プロジェクト

広江町長を招いて、「しあわせ笠松プロジェクト提案会」が1月23日、笠松中学校で開催されました。

3年4組の生徒38人は、総合学習の一環で、「笠松町のよさを感じ、大好きな笠松町でみんながしあわせに暮らすことができる元気な町をつくる」ことを目標に、グループごとに6つのプロジェクトチームを立ち上げました。

広江町長や職員に、「ビューティフルクリーン4」「クリーン7」「笠松キャラクター」「オグリキャップクッキー」「みんなの手で地球を救おう」「感謝を歌に!!カサマツミュージックフェスタ」が、それぞれのアイデアをプロジェクターやパネルを使ってわかりやすく提案しました。

オグリキャップクッキーを作ったチームは、笠松の松にちなんで松の実を入れ、オグリキャップの出身地だからクッキーの形を蹄鉄形に成型しました。

味は、試食品を住民に食べていただき、その感想をもとに甘さや焼き加減の改良に努め、オリジナルクッキーを作り上げました。将来は笠松の特産品として、商品化につなげたいと発表しました。町長たちにもプレゼントし早速試食しました。

中学生たちの町への思いや将来についての貴重な提言はありがたく、行政の政策にも重なり参考になりました。



パネルでオリジナルクッキーを説明をする生徒

## 町老人福祉大会開催

### 健康、友愛、奉仕活動の実践を宣言

高齢者の社会参加を目的に町老人福祉大会が2月17日、笠松中央公民館で会員300人が参加して開催されました。

大会では、広江町長のあいさつに続き、伊藤弘町老人クラブ連合会長から多年にわたり単位老人クラブの会長として会の運営に貢献された皆さんに表彰が行われ、田中勝士県議会議員、岡田文雄議長などから祝辞がありました。

長寿社会に生きがいを求め、健康・友愛・奉仕活動などを積極的に展開していくことを趣旨とする大会宣言を採択されました。

大会終了後、会員による踊り、カラオケ、詩吟などが披露され、参加した会員は楽しいひとときを過ごされました。

表彰を受けられた方は次のとおりです。(敬称略)

#### 【町老人クラブ連合会長表彰】

#### ◆個人

伊藤 俊勝(朝日町朝日会)	村井 恒雄(八幡町長寿会)
山田 晴生(上柳川町寿生会)	樋口純一郎(門間長生会①)
田島 静(無動寺老人クラブ)	田中 悦治(江川友和会)

## 国の厳しい財政にご理解を 財務行政懇話会開催

東海財務局岐阜財務事務所・笠松町共催の「財務行政懇話会」が、笠松中央公民館で2月17日に開催されました。

行政・商工関係者をはじめ約60人が参加され、原田岐阜財務事務所長から「我が国財政の現状と課題」と題し、国家財政の厳しい状況や歳出削減に向けた取り組み状況などについて説明があり、参加された方は熱心に聴き入っていました。

## 寄 附

【福祉事業】 匿名 現金200万円  
町では、ご趣旨に沿うよう活用させていただきます。